



2017年度 杏林大学 一般入学試験

I

A 問1 ア ① 問2 イ ② 問3 ウ ③ 問4 エオカ 050

B 問5 キ ② 問6 ク ⑤

II

A 問1 ア ① 問2 イ ③ 問3 ウ ② 問4 エ ① 問5 オ ①,④

B 問6 カ ② 問7 B キ ① C ク ③ 問8 ケ ① 問9 コ ⑤

III

A 問1 ア ③ 問2 イ ① 問3 ウ ② 問4 エ ⑥

B 問5 オ ③ 問6 カ ③

C 問7 (a) キ ⑤ (b) ク ③ 問8 ケ ③,④ 問9 コ ②



2017年度 杏林大学 一般入学試験

【 講 評 】

- ・昨年度と同様に大問3題構成。昨年度と比べると難化したが、従来の難易度に戻ったと考えるべきである。一次合格ラインは75%前後だと予想される。
- ・知識は標準レベルの問題が多いので、教科書に掲載されているものは正確に身につける必要がある。また、実験考察問題は頻出であり、対策は十分に行っておきたい。
- ・ビッグバン生は、レギュラー授業と週間テストでノックアウトマウスに関する問題を扱っているので、自信を持って問題に臨めたと思う。

I ノックアウトマウス	難易度：やや難
ターゲットベクターを用いた遺伝子組換えがメインのテーマとなっている。問2の毒素遺伝子を使った非相同組換えの除去は、初見では難しいものであるだろう。	
II 動物の発生	難易度：標準
Aは動物の発生についての知識問題、Bは考察問題となっている。問8,9ではX、Yが背側構造の形成を促進、Zは抑制することが読み取れれば、選択肢は選びやすい。	
III ニューロンと脳	難易度：やや易
膜電位、神経系についての知識問題は非常に平易なので完答しておきたい。問6では、図2-2の刺激時間の長さを考慮すると、ニューロンBの興奮の頻度はニューロンAよりも小さくなると考えられる。	

最終合格へのラストスパート!!!!!!

医学部後期入試対策講座

埼玉医科大・昭和大・近畿大・日本医科大・大阪医科大・関西医科大 申し込み受付中

イシャ ニナロウ

お問い合わせは ☎0120-148-276